

～ 継続のなかにも、新たなチャレンジを求めて ～
西野 雅詞さん（久万高原町）

三世代続く黒毛和種一貫経営農家 1993 年生まれ



☆経営概況☆

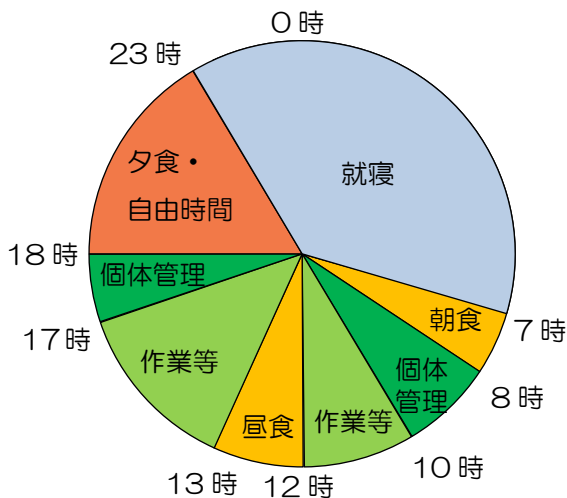
祖父、父と続けてきた黒毛和種の繁殖肥育一貫経営を 2015 年に受け継ぎ、現在は繁殖牛 15 頭、肥育・育成牛 35 頭を飼養しています。また、山林 7ha の管理も見よう見まねで取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■家族労働力を活かして作業分担を見直し、より良い環境づくりを！

まだまだ元気な両親と牛を飼うことは初めての妻の協力もあり、労働力は充実しています。このメリットを活かして、作業分担を見直し細分化することで、ブラッシングや床替えの回数を増やすなど、常に良い環境で牛も人も過ごせる農場づくりを心掛けています。

【ライフスタイル（1 日）】



【普段の生活について】

主な作業は、給餌、除糞、出荷、人工授精等の飼養管理ですが、季節によって飼料作物の作付けや収穫があります。それ以上に大切な作業は、牛たちの個体管理です。健康状態や発情管理は、直ちに経営に跳ね返ってくるので本当に気を使います。

現在は、個体管理を含め両親にお願いできるので、空いた時間を作りやすい環境です。その時間で、家族サービスや趣味の釣りを楽しんでいます。

☆これからの夢や目指すもの☆

■県外でも認められる肥育農家になりたい。

就農してから、全国から肥育牛が集まる神戸市場への出荷にチャレンジしています。セリで上物に格付けされると、本当に大きな達成感が湧いてきます。この達成感が、種牛の血統や飼料の勉強、多くの人と交流して知識や技術を吸収したいと思う原動力です。この原動力をもっともっと大きくして、一日でも早く達成できるようにしたいです。



☆メッセージ☆

■畜産を受け入れ僕を育ててくれたこの地域で、必要とされる存在になりたい！

一般的に畜産のイメージはよくないですが、代々受け入れてもらった地域に少しでも恩返しができると思っています。過疎化が進む地域の後継者として、若い力として、まずは明るく楽しく牛を飼いたいと思います。